



やまこし

1995
11月
第328号

広報やまこし

1995
11月
第328号

11月村民カレンダー

1(木)	・にこにこ会 午前10:00～午後2:00 村民会館 ・混成バレーボール大会 午後7:30～ 山古志中体育館
2(木)	・銀婚式のための成人講座 午後7:30～ 村民会館
3(金)	文化の日 ・村民文化展 ・村褒賞受賞者表彰式 ・産業まつり 午前9:00～午後1:00 ・牛の角突き 午後1:00～ 虫亀会場
4(土)	・ウォークラリー大会 午前8:30～午後2:00
5(日)	
6(月)	・行政懇談会 午後7:30～ 池谷小学校
7(火)	・乳児健診・3才児健診 午後2:00～3:30 村民会館 ・国民年金定例相談日
8(水)	・行政懇談会 午後7:30～ 村民会館
9(木)	・銀婚式のための成人講座 午後7:30～ 村民会館
10(金)	・ボランティア研修会 ・行政懇談会 午後7:30～ 間内平集落開発センター
11(土)	・青空ぼんちん塾(中止) ・行政懇談会 東竹沢小学校
12(日)	不燃ゴミ収集
13(月)	・1.6才児健診 午後2:00～3:30 村民会館 ・骨カメラ検診 午前7:30役場出発 中央総合病院(中止)
14(火)	・精神保健相談会 ・行政懇談会 午後7:30～ 種苧原農産物処理加工場
15(水)	・胃腸検診 午前8:30～10:30 村民会館 ・ジフテリア、風しん予防接種
16(木)	・親子映画鑑賞会 午後6:30～ 村民会館(中止)
17(金)	・フッ素サホライド塗布 午前9:30～10:30 山古志村歯科診療所 ・行政懇談会 午後7:30～ 虫亀多目的集会施設
18(土)	
19(日)	・山古志村近郷スポーツ少年バドミントン大会 午前8:30～ 虫亀小体育館
20(月)	・犬・ねこ引き取り
21(火)	
22(水)	・にこにこ会 午前10:00～午後2:00
23(木)	勤労感謝の日 ・銀婚式記念パーティー 午後1:00～ 村民会館
24(金)	
25(土)	
26(日)	・親子ふれあい料理教室 午前10:00～午後1:30 村民会館 ・スキースポーツ少年団結団式 午前9:00～ 村民会館
27(月)	
28(火)	
29(水)	
30(木)	
12/1(金)	・社会教育研究大会 午後1:00～ 村民会館
2(土)	
3(日)	
4(月)	
5(火)	・はしか予防接種 午後1:30～2:00 種苧原診療所

発行/山古志村役場

〒947-0102 新潟県古志郡山古志村大字竹沢乙四六一

電話 〇二五八五九一三三三〇
FAX 〇二五八五九一〇三三三

編集/総務課 ●印刷/大川印刷株式会社

はなつたつてアイドル

ともひろ
智豊ちゃん



平成5年4月18日生まれ 一種苧原一

小川 義弘・由美さん

こんにちは、トモです。ボクのお仕事はお姉ちゃんのおむかえ…。「はようまーす」に始まって「バイバイ」で1日が終わる。「トモも早くよーちえんに行きたいなー」って思うんだ。毎日カラオケ大好き、ばーちゃん大好きなボク。なんでもがんばり屋の元気君です!



精神障害者保健福祉 手帳制度について

十月一日から「精神障害者保健福祉手帳」制度が創設されました。これまでの「精神保健福祉カード」制度は平成七年九月末日で廃止となりますが、既に交付済みのものについては、期間終了まで有効となっています。

〔支援施策〕
手帳の交付を受けた者
一、通院医療費の公費負担の申請にあたって、医師の診断書の提出が不要となります。

二、税金については障害者控除の優遇措置を受けることができます。

・所得税および住民税の障害者控除
・預貯金の利子所得の非課税
・相続税の障害者控除
・贈与税の一部非課税
・自動車税、軽自動車税および自動車取得税の非課税
三、手帳の一級または二級の場
合、生活保護の障害者加算の認定を受けることができます。

精神障害者保健福祉手帳制度について詳しく知りたい方は、最寄りの保健所まで問い合わせてください。

防災講演会

日時 十一月十五日(水)
午後一時より
会場 小千谷市民会館
講師 伊藤和明さん
(NHK解説委員)
演題 災害は進化する
※聴講を希望する方は、消防署出張所、総務課庶務係で聴講券を発行しています。

今月の表紙

〔先着100名〕
『高石ともやと走ろう・山古志新発見!やまびこランニング』で、花火を合図にスタートする参加者の皆さんです。

紅葉のなか いい汗をかこう!



高石ともやさん

今月の内容
○平成6年度決算 P2~3
○スナップショット P4
○小学校親善陸上大会 P6
○お知らせ P7

国重要無形民俗文化財指定

「牛の角突き」と「錦鯉発祥の地」

人口の動き
(7.10.1現在)

■人口 2,658人(-3) 男 1,330・女 1,328 ■世帯数 753(-1)
■9月中のうごき □出生1人 □死亡2人 □転入4人 転出6人

ゆたかな生活の基盤づくりに23億2百万円

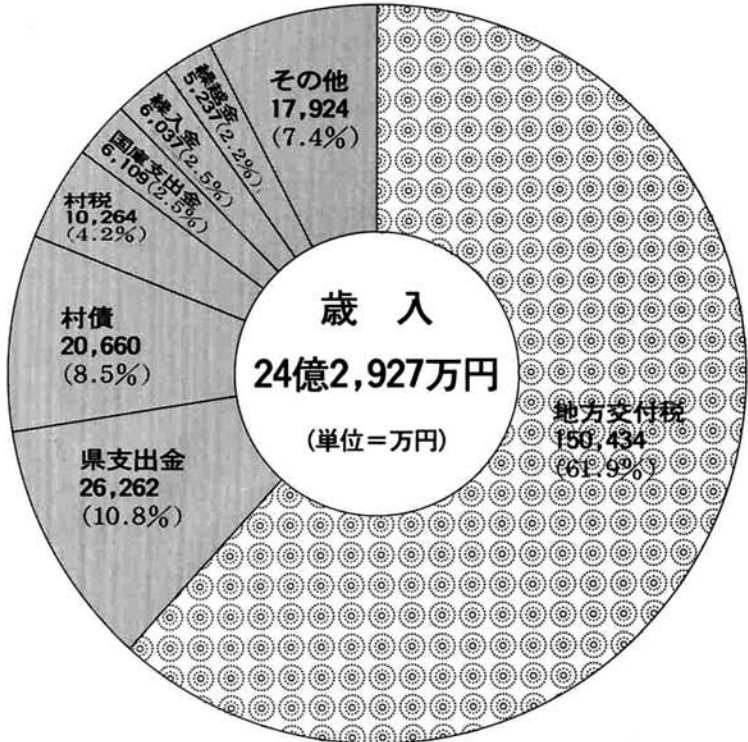
九月村議会定例会において、平成六年度の村の決算が認定されました。

村では、依存財源が中心である財政構造の実態を十分認識しながら各種事業の推進に努めてきました。この結果、歳出決算額を村民一人当たり換算すると八四万九千円となり、前年度より二万二千円の減となりました。

村民の皆さんに村の財政がどのように運営されているかを知っていただくために、決算の概要をお知らせします。主な事業は次のとおりです。

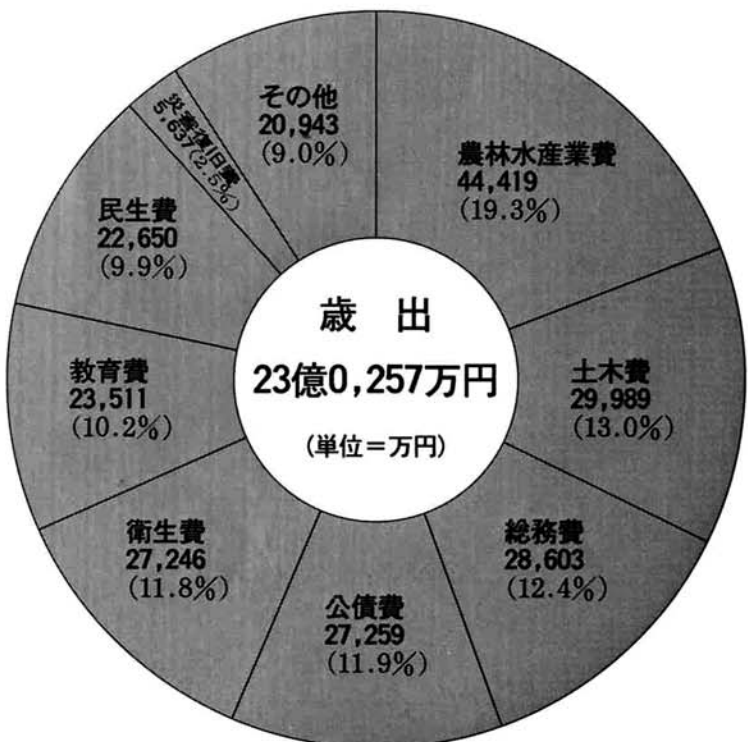
産業の振興

- ▼千ばつ被害応急対策事業補助金 四、〇七五万円
- ▼キャンプ場造成 (繰り越し分を含む) 七、二五〇万円
- ▼錦鯉越冬施設補助
- ▼農林水産業振興事業補助 (ランマ) 一、七一〇万円
- ▼萱峠牧場餌場新築
- ▼送迎バス購入



交通体系の整備

- ▼中山間地域農村活性化 総合整備事業
- ▼虫亀開牛場観覧席改修
- 〔改良・舗装〕
- ・村中堀切線 L||一八六m W||五m
- 〔舗装〕
- ・木籠池谷線 L||一七〇m W||四m
- ・林道風口線
- 〔開設〕
- ・下村大石二号线 L||一一一m W||五m
- ・下村大石三号线 L||六八m W||五m
- 〔除雪対策〕
- ・林道城山線 L||一一三m W||四m
- ・雪上車の購入 一台



生活環境の整備

- ★生活路線バス運行補助 六四四万円
- ★克雪住宅普及促進事業補助 (一五棟) 六四五万円
- ★可燃ごみ収集委託
- ★小千谷地域広域事務組合負担

福祉・医療

- ・ホームヘルパー派遣事業 一、二六二万円
- ・社会福祉事務委託 六〇五万円
- ・高齢者と子供の家庭改装工事 五〇七万円
- ・老人保護措置 四、八六八万円

教育文化の振興

- ・総合体育館建設用地の買収
- ・池谷小学校トイレ改修

歳入歳出決算 前年度を下まわる

平成五年度に比較して、一億三、五〇〇万円増の二億九千万円でスタートした一般会計予算は、歳入決算総額二億二、九二七万円、歳出決算総額二億二、五八六万八千円となり、歳入歳出差引形式収支において一億二、六七〇万二千円の黒字となりました。

歳入決算額は前年度より一億一、八二七万六千円、四・六%

減となりました。

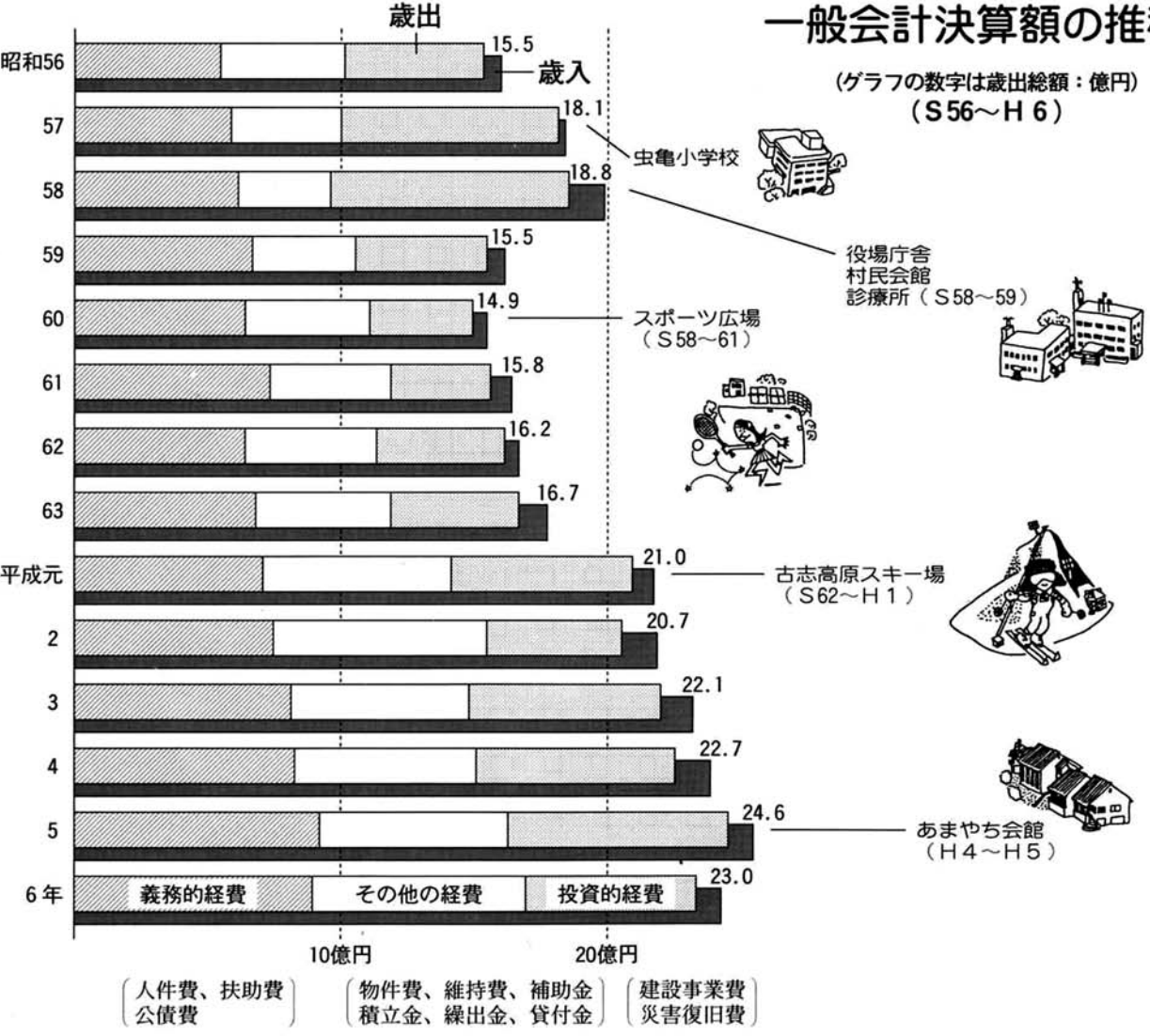
自主財源と依存財源の構成割合は18・6対81・4となっており、村税の収納額は一億二、四四万四千円と少なく、地方交付税や国庫支出金などで占めています。

歳出決算額は前年度より一億六、〇〇万六千円、六・五%減となり、災害復旧費(△51・2%)、民生費(△31・2%)、農林水産業費(△24・7%)などが前年度より少なくなっています。これは、災害復旧件数の減や福祉基金積立金の減、新農村地域定住促進対策事業の終了などによるものです。

人件費や扶助費、村債の償還金など、いわゆる義務的経費は四・九%(前年比)減の八億七、三四七万七千円で決算総額の三八%を占めており、旅費、需要費、備品購入費などの物件費や維持補修費、補助金などの経常経費は一二・九%(前年比)増の五億四、三八五万二千円となりました。一方、普通建設事業や災害復旧費など、いわゆる投資的経費は二〇%(前年比)減の六億五、一二八万九千円で、決算総額の二八・三%となりました。

一般会計決算額の推移

(グラフの数字は歳出総額: 億円) (S56~H6)



山古志新発見
やまびこランニング

十月八日、山古志村商工祭が「四季の里古志」スポーツ公園で行われました。新しいネットワーク作りと地域産業発展・活性化を目的に商工祭が主催したものです。イベントは午前中が山古志村のPRと特産品の販売、午後からはやまびこランニングと高石ともやさんの基調講演が行われ村内外から八〇名が参加しました。



▲高石さんを先頭にスタート!



▲田園風景を見ながらゴールを目指す!

ターゲット、全長五、二㎞の紅葉した山古志路を高石ともやさんと一緒にランニングやウォーキングを楽しみながらゴールを目指し、完走者には完走証や記念品が贈られました。ちなみにトップでゴールしたのは、見附市から参加した山谷秀雄さんでした。基調講演では、走り始めたキックや心と心のつながりの大切さなど、話の間に歌をほさみながら話していました。



▲トークとソングを交えての基調講演

西川に錦鯉を放流

西川をきれいにする会主催の「錦鯉放流」が九月二十四日、新潟市坂井輪地区で行われ稚魚二万尾が放流されました。今回で九回目を迎えた放流には、山古志村から六年生三十三名と西川沿いの小中学生が参加して行われました。第一会場(第四会場まで)の小針橋脇からポリバケツに数十尾づつ入れられた錦鯉が児童や生徒の手によって次々と放されました。元気で大きく育ち、西川をきれいにしてくれることと思います。



▲「大きくなーれ」「元気で…」と錦鯉に語りかけながら放流

少年の主張

長岡栃尾三古地区大会

八月十八日、栃尾市市民会館において、「新潟県少年の主張長岡栃尾三古地区大会」が開催されました。未来への希望や夢など日頃考えていることを発表するもので山古志中学校からは三年生の佐藤若菜さん(種芋原II繁實さん方)が堂々と発表しました。



人とふれあうこと

三年生になった今、私はまわりの人とのかわりを大切にしたいと思っています。「人とふれあう」ということは、まわりの人との人間関係にもつながります。まずはたくさんの人々とふれあい、そして自分のためにも何かが得られるのではないかと考えたからです。中学校に入学した時、部活動や英語の科目など小学校にはない、新しいことばかりが多くあ

総合優勝は第七部の大正三色

錦鯉シーズン最盛期の十月二十二日、山古志村総合錦鯉品評会が錦鯉総合センターで行われました。今回で三十四回目を迎えた大会には、丹精込めて飼育された錦鯉四〇八点が出品され、厳正な審査の結果、七部の大正三色が総合優勝の栄誉に輝きました。

★第三十四回山古志総合錦鯉品評会総合優勝
大正三色 五十嵐千人



- ★総合優勝次席 大正三色 橋養鯉場
- ★ジャンボの部優勝 紅 白 星野 米一
- ・第七部総合優勝 紅 白 佐藤 啓一
- ・第六部総合優勝 昭和三色 ①養鯉場
- ・第五部総合優勝 昭和三色 坂牧 雅良
- ・第四部総合優勝 昭和三色 五十嵐 千人
- ・第三部総合優勝 昭和三色 五十嵐 弘
- ・第二部総合優勝 銀鱗紅白 星野 和弘
- ・第一部総合優勝 大正三色 石原 武

りました。そんな中「小学校とはちがうな。」と大きく感じたことは、「言葉づかい」や「あいさつ」についてです。中学校では、先生はもちろん、上級生に対しての言葉づかいに気を付けなくてはなりません。敬語を使うことで相手を敬い、敬意を表せば自分も相手も気持ちよく過ごせるからなのでしょう。また、あいさつもそうです。これは普段から同級生や地域の人たちもふくめて、気をつけなければなりません。しかし、これらは「気をつけること」ではなく、常に自然にできるものではないでしょうか。確かに入学した当時は、言葉づかいなどに慣れることができてなくて大変でしたが、二年生になってくると、ごく普通にできるようになりました。それと同時に言葉づかいの大切さ、あいさつの大切さがわかったような気がしました。

な。「と感じさせてくれます。こんな小さな思いやりや、たった一言のあいさつだけで、まわりはともども気分がよくなるものです。この活動をやっているうちに、やはりあいさつは重要なものと気づきました。そして、あいさつはまわりを明るくし、人と人をつなげる一つの手段ではないかと思っています。ところで、私の周りには自主的にボランティア活動を行っている人がいます。私と同じ中学生が老人ホームへ訪れ、お年寄りの介護をしているのです。このボランティア活動も人とのふれあいの場の一つです。きっとその人は、人とふれあうことがとても好きな人だろうし、人の役に立つことが進んでできる人なのでしょう。それは、とても魅力的なことだと思います。この活動には、参加した人たちにしかわからない感動があるのではないのでしょうか。

今までにあげた、「言葉づかい」「あいさつ」は、生活していく中でも重要なものです。毎日人と接する中で、いつも礼儀の一つとして心にとめておきたいと思っています。特にあいさつは誰でも簡単にできることですが、中にはあまりしない人もいます。頭を下げたり、手をふったり笑顔をつくることで立派なあいさつになると思います。日常生活の中で、自然に気持ちよくあいさつできるようになれたら、自分自身の中でも何かよい変化があるのではないのでしょうか。私も今までは少しづつですが、気持ちのよいあいさつができることが一番大切だと思います。

種芋原保育所です。種芋原保育所の保育目標は「元気な子」「優しい子」「強い子」です。心身ともに健康で心やさしく、意志の強い子になってほしいとの願いがこもっています。現在、二歳から五歳まで十六名の子供たちが、豊かな自然の中で四季折々の遊びを楽しんでいます。春はフキノトウやスカンボ取り、夏はプール遊び、秋はお弁当を持って栗拾いやドングリ拾い、アケビ取りに出かけます。冬のソリ滑りやかまくらづくりは子供たちにとって楽しい遊びです。このような自然の恵みをたっぷり受け、元気で優しく強い子を誇りに思っています。年々入所児童が減少していますが、少人数で家庭的な保育所の特長を生かし、子供一人一人の良さを引き出しながら、子供相互の集団活動を効果のあるものにするよう援助していかねばならないと思っています。種芋原保育所 星野保母

小学校親善陸上大会

期日 九月二十一日(木)
場所 山古志中学校グラウンド
大会結果は次のとおりです。
(名前の上は順位、下は学校名の略です。)



- ★四年生一〇〇M
- 男子 ①星野 健(竹) ①星野優津美(竹)
②星野 真(竹) ②佐藤 美樹(竹)
③五十嵐雅人(虫) ③高野 美奈(竹)
- ★五年生一〇〇M
- 男子 ①坂牧 暁志(橋) ①田中 千晶(虫)
②長谷川義行(橋) ②川上由紀子(池)
③佐藤 宏(虫) ③小川奈津希(橋)
- ★六年生一〇〇M

- ★五年生走高跳
- 男子 ①鈴木 佑樹(東) ①河原ちづる(池)
②坂牧 直人(橋) ②佐藤 鳩子(橋)
③橋 昇(橋) ③星野 智子(竹)
- ★六年生走高跳
- 男子 ①鈴木 佑樹(東) ①高野由香莉(竹)
②畔上 義行(池) ②平田 幸子(池)
③橋 昇(橋) ③星野さゆり(竹)

- 男子 ①畔上 義行(池) ①河原ちづる(池)
②橋 昇(橋) ②酒井 久美(虫)
③坂牧 直人(橋) ③平田 幸子(池)
- ★五年生八〇Mハードル
- 男子 ①坂牧 暁志(橋) ①川上由紀子(池)
②なし ②田中 千晶(虫)
③なし ③坂牧 美穂(橋)
- ★六年生八〇Mハードル
- 男子 ①橋 昇(橋) ①高野由香莉(竹)
②坂牧 直人(橋) ②河原ちづる(池)
③長島健太郎(竹) ③長谷川優子(橋)
- ★五年生走幅跳
- 男子 ①長谷川義行(橋) ①川上由紀子(池)
②佐藤 宏(虫) ②平沢 典子(虫)
③坂牧 暁志(橋) ③田中 千晶(虫)

- ★女子八〇〇M
- 五年生 ①坂牧 里美(橋) ①佐藤 鳩子(橋)
②小川奈津希(橋) ②長島会史子(虫)
③今井美和子(橋) ③星野さゆり(竹)
- ★男子一五〇〇M
- 五年生 ①長谷川義行(橋) ①坂牧 友晴(橋)
②佐藤 宏(虫) ②鈴木 佑樹(東)
③長島康太郎(竹) ③長島 優(虫)
- ★四〇〇Mリレー
- 男子 ①種芋原小 ①虫 亀小
②東竹沢小 ②池 谷小
③竹 沢小 ③竹 沢小
④池 谷小 ④種芋原小
⑤虫 亀小



▲新記録目指してスタートダッシュ!

「ほうほう豆腐」

白菜をおいしく漬けるには、必ず新鮮な材料を使うようにしましょう。

白菜は、縦四つに割るか六つに割ります。根元に切り込みを入れて、手で大きくようにして割ります。切り口を上にして、半日ぐらい天日で干しましょう。

直射日光に当たると、甘みが出ます。干した後はよく水洗いをして、軽く水を切ります。

白菜漬は、下漬けをした後に本漬けをします。

下漬けは、白菜と塩だけで漬けます。白菜二株(約五キロ)に対して塩一二五グラム(白菜の重さの二・五%)で漬け込みます。容器の底に分量を計った塩の一部をふり、白菜の切り口を上にして

白菜をおいしく漬ける

半日ぐらい天日で干す

押しがたを乗せ、白菜の二倍の重さの重しを置きます。二、三日すると白菜のかさが減り、水が上がってきます。ここまでは、下漬けです。



本漬けには、ユズ一個(輪切り)、赤唐がらし二〜三本(へたを取り、細かく刻んで種を出す)、コンブ三十センチ(砂や汚れを取り、細切りにする)を用意します。下漬けをした白菜を取り出し、水を捨てます。容器には下漬けで上にあつたものが下になるように漬け込んでいき、一段ごとに用意したユズ、赤唐がらし、コンブを入れていきます。漬け込んだ後に押しがたをして重しを乗せ、白菜と同じ重さのものを使います。水が出たら重しをさらに軽くし、覆いをして涼しい場所に置きましょう。四〜五日もすると、おいしい白菜漬の出来上がりです。

お知らせ

村長が答えます あんなこと? こんなこと!

—行政懇談会—

村民との対話を図り、開かれた村政を目指して行政懇談会を開きます。御意見・御提言、なんでも結構です。気軽に参加し、話し合います。各会場とも午後7時30分からです。

月日	対象地区	会場
11月6日	池谷・榎木・大久保	池谷小学校
11月8日	竹沢・油夫・桂谷	村民会館
11月10日	間内平・菖蒲・山中	間内平集落開発センター
11月11日	梶金・木籠・小松倉	東竹沢小学校
11月14日	種芋原	農産物処理加工場
11月17日	虫亀	多目的集会施設

次の候補作品の中から、皆さんが長岡地域にふさわしいと思う作品をひとつ選んで投票してください。

▼投票方法

はがきの裏面に、投票するキャッチフレーズの番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入して、郵便で投票してください。

▼投票期間

平成七年十一月十日(金)から平成七年十二月十五日(金)まで
(当日消印有効)

▼投票資格

資格は問いません
▼キャッチフレーズの制定
十二月下旬

▼賞品

キャッチフレーズに制定された作品に投票された方の中から抽選で、三十名の方に記念品を贈ります。

当選の発表は、記念品の発送をもって行います。

▼主催及び投票先

長岡地域広域行政組合
〒九四〇

長岡市幸町二丁目一番一号

長岡市役所 幸町分室内

候補作品

一、みんなで見える夢、大きな夢。
二、地域の時代へ、いちばん乗り。
三、つながって、つづいて、未来へ。

広域行政と

市町村合併を考える

—シンポジウム—

▼平成七年十一月二十七日(月)

▼午後一時三十分〜四時まで

▼長岡NCホール

▼入場申込み

新潟県総務部地方課企画係

☎025-285-5511

(内線2223、2224)

農業経営改善支援センター 相談窓口の開設

農業者の経営改善をサポートする『山古志村農業経営改善支援センター』を農業委員会に開設しました。

農業経営改善支援センターは、意欲的に農業経営に取り組みたい農家に対して、税制・金融、農地の利用集積等について重点的に支援・助長施策を講じていくもので、改善支援センター内に設置した『相談支援チーム』

が相談・指導に当たります。

農地の賃貸借や低利資金の融資を希望している農家。又、自分の農地を耕作してほしい・売りたい農家など、何でも気軽に相談してください。

キャッチフレーズを 制定します

長岡地域の一体感を高めるため、圏域を象徴するキャッチフレーズを制定します。

犬、ねこの引き取り

- ・11月20日(月) 山古志村役場前
- ・手数料 1匹 1,600円(3か月未満は10匹まで)
- ・その他 引取を希望する方は11月17日までに住民課保健衛生係へ連絡のうえ、印鑑を当日持参してください。